

聖なる丘だより



第43号

■発行日／平成29年1月



医療法人聖比留会

セントヒル病院

年頭のごあいさつ

皆さま明けましておめでとうございます。それぞれの思いを胸に新年を迎えられたことと思います。昨年は災害の年でした。4月に熊本で地震が発生、夏の猛暑の後には台風が頻発。10月には阿蘇の爆発的噴火、更に鳥取でも大きな地震が発生。11月には福島沖で最大震度5弱の地震が発生、2011年の東北大震災の余震だったようです。ということで先ず今年は大きな災害の無い年になるように祈願したいと思います。

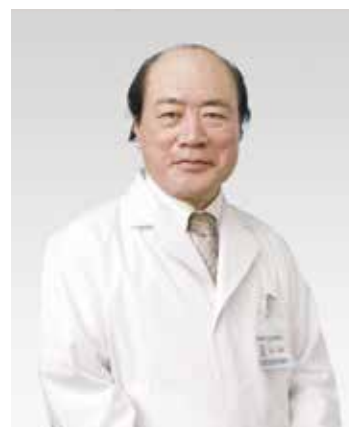
さて、世界を見ますと一番にアメリカ大統領に選ばれたトランプ氏の政策が気になります。TPP参加中止の宣言を出しましたが貿易の影響はどうなるのでしょうか。沖縄基地の負担問題、東シナ海などの軍事問題なども五里霧中のようにです。

その他に北方領土の問題もあります。また韓国やフィリピン、更には欧州、中近東と不安定な状態が続いております。日本は今までにない変革の年になるでしょう。政府は先の見えないグローバルな世界状況の中で方向を的確に判断して舵を切り安全な航路へと進んで欲しいと思います。

ところで、我々の医療はどういう年になるのでしょうか。少子高齢化社会に対して地域を包括しての医療が行われていますが、地域医療構想の策定作業も次第に広がり進むでしょう。在宅医療を中心にした地域医療連携も求められています。そんな状況の中で行政と医療施設、地域住民との連携の歯車に噛み合うよう対応して行かなければなりません。一方、膨張する医療費に対する抑制策も行われています。しかしながら医療体制がどのように変わろうとも医療者にとって一番肝心なことは患者、家族に寄り添う事です。EBMを中心としたデジタル的な医療も勿論大事ですが、患者の心、気持ちを大切にするアナログな部分が重要です。

セントヒル病院は、この1年の目標の一つに来年初めの病院機能評価更新があります。時代のニーズに合ったように体制も更新しながら他の医療機関と連携して中核病院としての役割を果たして行きたいと思います。これからも質の高い医療を目指して地域住民にとって信頼される、安心できる、親しみある病院を理念に邁進して行く所存です。何卒ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまにとりまして酉年がよい年になるよう衷心よりお祈りいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



医療法人聖比留会 セントヒル病院

院長 西嶋 雫嘉

2017年(平成29年)初春



第3回 医療法人聖比留会 症例研究発表会を開催

平成28年10月29日(土)、第3回 医療法人聖比留会 症例研究発表会を開催しました。松崎益徳現会長の発案により始まった研究発表会も3回目になりました。今回は医師17名を含む61名の参加がありました。

研究発表会は、最初に松崎会長により『 β 遮断薬のパラダイムシフト』～慢性心不全への適応～と題して、基調講演が行われました。続いて医師、看護師、放射線技師から14演題の発表がありました。

当日は行楽日和にもかかわらず、日頃からの研鑽とこの日に向けて準備をされた当法人や山口大学の医師をはじめ多数の医療専門スタッフ、多職種の職員が一堂に会し、臨床経験や新たな検査・診断技術の研究成果が多数紹介されました。患者さんに寄り添った看護師の取り組みやがん患者さんへ心から接していく医師の姿勢と環境づくりの努力、大腸癌の早期発見に遺伝子の技術を利用した取組等々、日頃セントヒル病院内外で蓄積された学術成果を活発に討議し交流を深める場となりました。

閉会後に「内容の濃い会だった。」と語っていた医師の姿がとても印象的でした。



吉田地区いきいきサロン健康教室



平成28年10月28日(金)、あいにくの雨で足元の悪い日でしたが、皆さん笑顔で、「サロンの開催を楽しみにしています。」と32名の方が集まれ、健康教室をさせていただきました。講演内容は整形外科医西嶋院長による『足腰を鍛えよう!』ロコモティブシンドローム(運動器症候群)と栄養管理室 原田管理栄養士による『認知症を予防するための食事と健康』でした。来場された方の年齢層は幅広いのですが、ロコモーショントレーニング(ロコトレ)の1分間片脚立ち・スクワットもこなされ、サロン名の通り「在宅でいきいき生活されている元気な方々の集まり」という感じでした。また、認知症予防については、自分自身の身近な問題でもあり、時折「うんうん」と頷きながら、隣の方と顔を見合わせて聞いておられました。短時間ではありましたが、今回の健康教室で、毎日の生活習慣を再度見直して、自主的に体操を実施する事、咀嚼力・よく噛んで食べる事等、今後の行動に結びつけていただければ幸いです。これからも当院を身近な病院として感じていただきながら、地域住民の方の健康増進の一助になりたいと思っております。



市民公開講座「やさしいPETの話」



平成28年9月3日(土)、当院にて「やさしいPETの話」と題して、市民公開講座を開催いたしました。講演前に市民の方々にPET検査の機械を実際に見て頂き、放射線技師より説明をさせていただきました。皆さん実際に機械を見るのは初めてで、「解りやすい説明で不安が解消された」というご意見を頂きました。そして、当院放射線室長 菅一能医師が講演し、会場からも「検査の必要性がわかった」「早く検査を受けこれからも元気で過ごしたい」「検査料金や癌細胞の大きさによって治療内容がどうなるか説明してほしい」等たくさんのご意見、ご質問を頂き、市民の方々の関心の高さをうかがい知ることができました。最後にボランティアで参加して頂いた「AIRRY 77」のみなさんによる素敵なダンスで元気をもらいました(PETセンターキャラクターのPETちゃんも一緒です!?)。

今後も市民の方々の健康づくりのお手伝い出来るよう病院職員一同、邁進してまいります。



少林寺拳法の演武を披露

平成28年8月17日(水)に、セントヒル病院たかきホールで少林寺拳法の演武を披露していただきました。今回ご来院して頂いたのは、宇部恩田スポーツ少年団の皆さんです。

夏の暑さにも負けず、パワフルで素晴らしい演武でした。小さなお子さん達から元気なパワーを頂き、患者さまも大変喜んでおられました。



職員の紹介



2F病棟
看護師

椎屋 里奈

昨年の4月に入職し准看護師として働きはじめて8か月が経ちました。まだまだ未熟な所がありますが、先輩看護師に多くのご指導をいただきながら日々の業務や看護を行っています。私は患者さまの全体像を捉え、患者さまに寄り添った思いやりのある看護を提供できるよう、1日1日の関わりを大切にしていきたいと思っています。また、責任感をもち患者さまやスタッフの方々から信頼される看護師を目指し、これから多くの経験を積み技術・知識を身につけより良い看護を行えるよう日々努力していきたいです。



3F病棟
看護師

中島 翔平

昨年の4月から3階腎臓内科・泌尿器科の混合病棟に配属されました。入職した当初からわからないことや覚えることが多くあり、今でも不安でいっぱいですが、忙しい中でも師長さんやプリセプターさん、先輩看護師の方々に質問すると私が理解できるまでご指導して下さいます。3階病棟では様々な疾患を持った患者さまが入院されています。その中で患者さま一人ひとりにあった看護を提供できる看護師を目指していきたいです。



2F病棟
看護師

徳本 真也

当院は私が学生の頃の実習病院でもあり、病院内の雰囲気の良いことや看護師の方々の熱心な指導が心に残り、就職をすることに決めました。実際に働き始めてもその印象は変わらず、とても働きやすい環境の中で日々過ごしています。これからも知識を深めながら経験を重ね、患者さんの個別性に合わせた看護を提供していきたいと思っています。

外 来 医 師 表

2016年12月1日より

●呼吸器内科の受付時間は、8:30～18:30(月・水・金曜日)

※呼吸器内科の午後の診察は14:30頃からとなります。

診療科		月	火	水	木	金	土
呼吸器科 アレルギー	午前	長 崎	*****	長 崎	*****	長 崎	*****
	午後	長 崎	*****	長 崎	*****	長 崎	*****

●外来の受付時間は下記の通りです。(呼吸器科・透析は除く)

月～土曜日		午前	8:30	～	11:30	／	月～金曜日	午後	13:00	～	16:30			
診療科			月		火		水		木		金		土	
内科	午前	腎臓科	藤 井		藤 井		藤 井		藤 井		藤 井		藤 井	
		循環器科	岡 村		担当医		濱 田		中 村		和 田		白上/藤村/小室	
		循環器科 心臓PET	*****		*****		*****		*****		*****		山 本	
	午後	腎臓科	藤 井		藤 井		*****		藤 井		藤 井		*****	
		循環器科	*****		*****		河村／濱田		*****		和 田		*****	

○土曜日の循環器科は当番制となります。

診療科		月	火	水	木	金	土	
消化器科	午前	消化器1	檜 垣	岡 本	*****	山 崎(肝)	柴 田	檜垣／柴田
		消化器2	日 高(肝)	檜 垣	浜 辺	檜 垣	浜 辺	*****
		検査 (胃カメラ・エコー)	浜 辺	柴 田	柴 田	浜 辺	檜 垣	*****
	午後	消化器	浜 辺	檜 垣	浜 辺	柴 田	柴 田	*****
		検査 (大腸カメラ)	檜 垣	岡 本	柴 田	檜 垣	浜 辺	*****

診療科		月	火	水	木	金	土
外科	午前	吉 田晋	吉 田晋	吉 田晋	吉 田晋	吉 田晋	当番医
	午後	吉 田晋	佐 藤	吉 田晋	吉 田晋	碓/渡邊	*****
乳・甲状腺 外科	午前	山 本					
	午後	前 田					

診療科		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	関	瀬 戸	富 永	瀬 戸	西嶋/河野祥	当番医
	午後	関	瀬 戸	瀬 戸	瀬 戸	西 嶋	*****

診療科		月	火	水	木	金	土
泌尿器科	午前	大 塚	大 塚	大 塚	清 水	大 塚	当番医
	午後	大 塚	大 塚	大 塚	大 塚	大 塚	*****

○土曜日は 内山医師・藤川医師・玉田医師・大塚医師にて当番制となります。

診療科		月	火	水	木	金	土
脳外科	午前	秋 村	秋 村	秋 村	秋 村	秋 村	秋 村
	午後	秋 村	秋 村	秋 村	秋 村	秋 村	*****

○第2・4木曜日の午後は休診となります。

診療科		月	火	水	木	金	土
漢方外来	午前	*****	*****	*****	*****	飯 塚	*****

○第2・4金曜日のみの診療となります。

診療科		月	火	水	木	金	土
透析	午前	藤 井	藤 井	大 塚	池 上	藤 井	大 塚
	午後	藤 井	藤 井	大塚/徳永	藤 井	藤 井	当番医
	夜間	藤 井	*****	当番医	*****	藤 井	*****

○水曜日の夜間は第1・3白上医師、第2・4池上医師、第5大塚医師の当番制となります。

○土曜日の午後は第2・4白上医師、第1・3・5大塚医師の当番制となります。

●外科系の診療科は午後は手術を行なう事が多い為、午前中に受診されるか又は、来院前に電話にてお問い合わせください。



スタッフ募集中

セントヒル病院は、長く働いていける職場を目指しています。
私たちと一緒に働いてみませんか？

募集職種	看護師 ▶ 募集人員 10名	准看護師 ▶ 募集人員 10名
勤務内容	病棟、透析室、外来、手術室での看護業務	病棟、透析室、外来、手術室での看護業務
勤務時間	(日 勤) 8:30～17:00 休憩60分 (夜 勤) 16:30～ 9:00 休憩120分 (透析日勤) 8:00～16:30 休憩60分 (透析夜勤) 16:30～24:00 休憩 60分 ※その他、配属部署により早出・遅出勤務等あります。	
給 与	[基本給] 月額200,000円～ *職務経験考慮いたします [賞 与] 年2回 *人事考課制度の適用有り [昇 給] 年1回	[基本給] 月額156,000円～180,700円 *職務経験考慮いたします [賞 与] 年2回 *人事考課制度の適用有り [昇 給] 年1回
諸 手 当	[夜 勤 手 当] 14,500円/回 [透析夜勤手当] 6,500円/回 [認定看護師] 20,000円/月 [住 宅 手 当] 10,000円/月(借家の世帯主であること) [通 勤 手 当] 通勤距離に応じる、限度額20,000円/月	[夜 勤 手 当] 12,300円/回 [夜間透析手当] 6,000円/回 [住 宅 手 当] 10,000円/月(借家の世帯主であること) [通 勤 手 当] 通勤距離に応じる、限度額20,000円/月
●休 日/原則として週休2日、1ヶ月単位の変形労働時間制による週37.5時間勤務 その他、正月休暇、盆休暇有り 年次有給休暇 初年度10日(入職日より5日取得も可) ●社 会 保 険/健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険 ●退職金制度/確定給付企業年金制度有り(勤続3年以上) ●そ の 他/院内託児所有り、夜間保育有り(2回/週)、育児休業及び育児短時間正社員制度有り、長期職員研修における援助有り ●採用担当者/看護部長 清水 ●電話番号/(0836)51-5111		

病院の理念

信頼される
私達は地域住民に安心できる 病院を目指します。
親しまれる

基本方針

1. 患者さまの人権を尊重し、個人の情報を保護します。
2. 安全管理を徹底し、患者さまに満足される医療を提供します。
3. 最新の医療機器・設備による高水準の医療を提供します。
4. 地域医療機関との連携を強化し、患者さまのニーズに応えます。
5. 働き甲斐のある職場、健全な病院運営に努めます。

患 者 さ ま の 権 利

1.人権を尊重される権利

- 疾病の種類、社会的立場等に関わらず、すべての人には良質な医療を平等かつ公平に受けられる権利があります。患者さまは個々の人格や価値観などを尊重され、自らの意見を述べる権利があります。
- 人道的ターミナルケアを受ける権利及びリビングウィルを尊重し、できる限り尊厳を保ちつつ死を迎える為にあらゆる可能な支援を受ける権利があります。

2.最善の医療を安全に受けられる権利

- 常に患者さまご自身にとって最善の医療を受ける権利があります。

3.プライバシーが守られる権利

- ご提供いただいた病気に関わる私的な情報や診療の経過で得られた情報は当院の規程に従い厳正に取り扱います。患者さま自身の許可なく第三者へ提供しません。
- 医療の発展のため、治療の成果等を研究や教育へ活用させていただく事があります。使用の際には、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

4.医療の情報を知る権利

- ご自身のカルテに記載された自分自身の情報を開示され、自己の健康状態について情報を得る権利があります。

5.理解し納得できるまで説明を受ける権利

- 治療や検査の必要性や効果、危険性、他の治療方法の有無などについて、わかりやすい言葉や方法での説明を求める権利があります。

6.医療行為を選択する権利

- 自分の意思で主体的に治療方法等を決定することができます。また、複数の専門医等(セカンドオピニオン)の意見を求めたり、他の医療機関へ移動する事も出来ます。してほしくない治療を断ることもできます。
- 他の医師の意見を求めることで不利な扱いを受けることはありません。

平成14年9月10日作成
平成19年11月8日改定
平成20年11月6日改定
平成24年4月1日見直し

